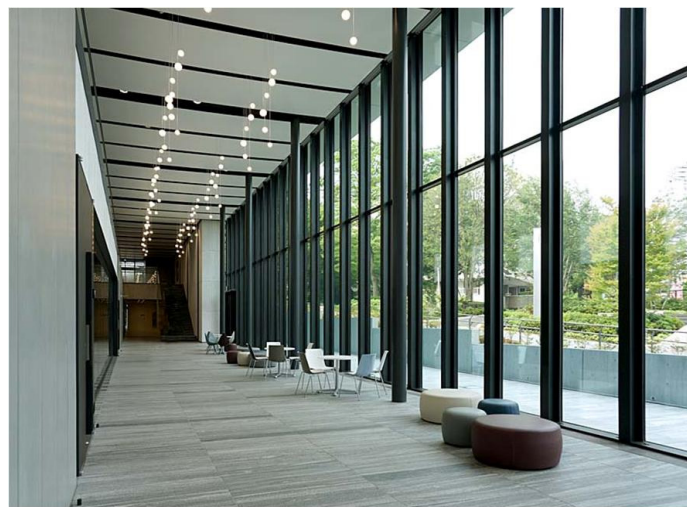


2・3号館外観



大学の活動を学内外に発信する新たなキャンパスの顔となる施設として設立された。背後に広がる生田緑地との共存を意識したガラス張りの清新なデザイン。(手前が2号館、奥が3号館)

2号館1F アカデミーモール



天井から下がるペンダント照明は、夜間に外から見ると、生田緑地に生息する蛍を連想させる。

2号館2F 男性トイレ洗面コーナー



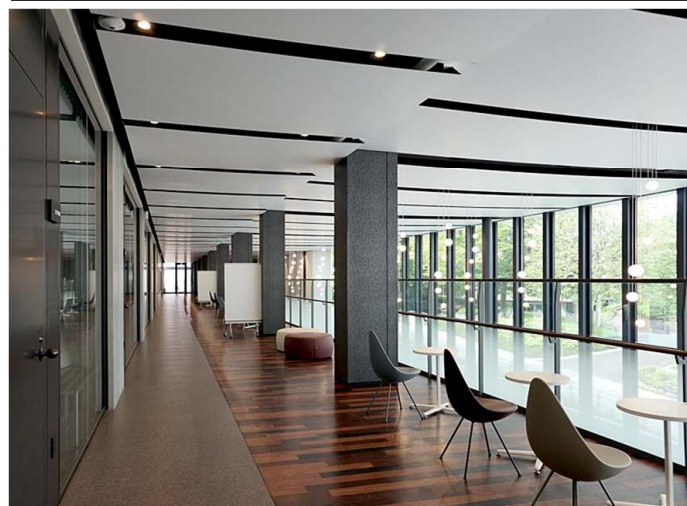
奥行き450mmのコンパクトなカウンターに、水はねを低減する形状の洗面器をセット。カウンターを延長して身だしなみコーナーとしている。男女トイレに姿見を設置。

2号館2F 女性トイレ



パウダーコーナーを設置することで、洗面まわりの混雑を解消。大便器ブースの間仕切りを天井まで立ち上げることで、防犯対策を図るとともに個室感を高めている。

2号館2F アカデミーモール



学生たちの自然な交流を促す教室と連動したラーニングスペース。B1Fから2Fまでの各階に設置されている。

2号館2F トイレ入口



遠くからでもわかりやすいピクトサイン。

2号館2F 女性トイレ洗面コーナー



水はねを低減する形状の洗面器には、非接触で衛生的な自動水栓をセット。鏡の上部には間接照明を施している。

2号館2F 女性トイレ大便器ブース



ローシルエットのウォシュレット一体形便器。電池交換が不要なエコリモコンタイプを採用。女性トイレには、各ブースに非常呼出ボタンを設置し、安全性に配慮している。

2号館2F 男性トイレ



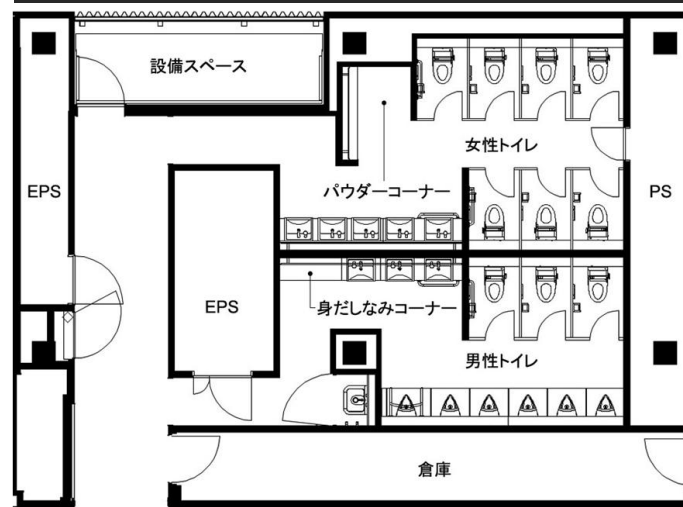
大便器はローシルエットのウォシュレット一体形便器。電池交換が不要なエコリモコンタイプを採用。さまざまな利用者に配慮して、ブースの1ヶ所に手すりを設置している。

2号館2F 男性トイレ小便器コーナー



シンプルデザインと大幅な節水を実現した自動洗浄小便器。足元には尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを採用。

2号館2F トイレ図面



屋外



さまざまな種類の植栽が施されたテラスには、学生たちが休憩したり、コミュニケーションがはかれるよう、ベンチが設置されている。

2号館1F トイレサイン



上部には立体的なサインを設置。

2号館1F トイレ入口



手前から多目的トイレ、男性トイレ、女性トイレ。

3号館7F 蒼翼（そうよく）の間



「蒼翼の間」と名づけられたホールは、大規模な会議やレセプションなど多目的に利用できる。窓からは富士山や筑波山まで見ることができる。

3号館7F 男性トイレ



女性トイレ同様、大きな開口が設けられた開放感のあるトイレ。

2号館1F 多目的トイレ



車いす使用者や、オストメイトの方など、さまざまな使用者に対応できる設備を完備したコンパクト多機能トイレバックを採用。

2号館1F LEARNING THEATER 211



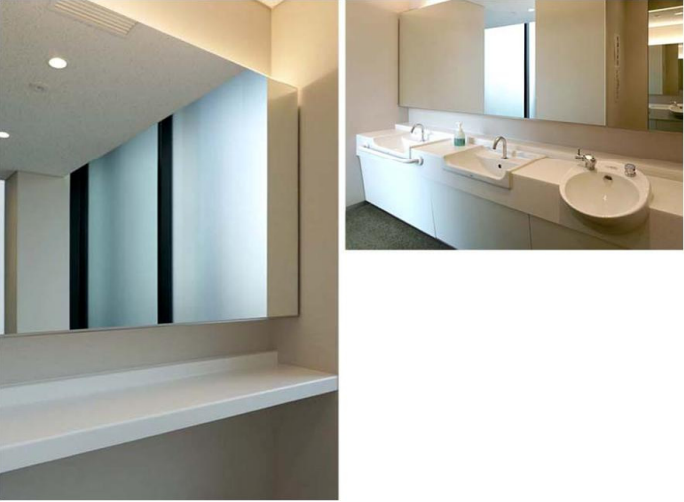
最新の音響設備が整えられたラーニングスタジオは、200人を収容することができ、プレゼンテーションなどに活用されている。

3号館7F 女性トイレ



大きな窓から生田緑地を眺めることができる、気持ちのいい空間。

3号館1F 女性トイレ



パウダーコーナーに設置された歯磨き器は、上向き吐水でコップを使わずに口をゆすぐことができる。

2号館B1F Active! Studio 202



最新の音響と映像設備を完備したアクティブスタジオは、授業だけでなく、学内の行事やサークル活動にも活用されている。

3号館7F ラウンジ



「蒼翼の間」の隣に設置されたラウンジ。落ち着いたイメージ。

建築概要	
名 称	専修大学生田 2・3号館
所 在 地	神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1
施 主	学校法人専修大学
設 計	株式会社日建設計
施 工	＜建築＞鹿島建設株式会社 ＜設備＞三機工業株式会社
竣 工 年 月	2016年12月

水まわりの特長
＜建て替えの経緯＞ 都心から近い生田緑地に隣接する広大な生田キャンパスには、教室・ゼミ室をはじめ教育研究施設やスポーツ施設など充実した設備が整っている。旧2・3号館は東日本大震災で大きな損害を受けたため、新たなキャンパスの顔として建て替えられることになった。新2号館は、音響・映像設備が充実したラーニングスタジオ、ラーニングシアターを中心に、アクティブ・ラーニングを促進するための学習支援機能が形成されている。新3号館の最上階には、多目的コミュニケーションスペース「蒼翼の間」を設け、大規模な会議やレセプションなどに活用されている。
＜トイレの特長＞ 限られたスペースでありながらも、狭さを感じない快適な空間が実現した。学生の身だしなみ行為に配慮して、2号館のすべての男女トイレにパウダーコーナー（身だしなみコーナー）と姿見鏡を設置している。また、さまざまな身体状況の学生に配慮し、大便器ブースと洗面器の一部には手すりを設置している。3号館のすべてのトイレは、大きな窓に面しており、気分転換ができる気持ちのよい空間となっている。